

# イスラエルのための祈り オデッド・リフシッツさんを覚えて

23/3/3 恵比寿マンデー



# 平和活動家オデッド・リフシッツさん(83)

23年10月7日ハマスによって人質としてガザへ連れ去られ、その後 殺害された

ビバス親子三人のご遺体と共にご遺体が 返還され、25年2月25日葬儀、ご自身が創設したキブツ・ニル・オズに埋葬された

アラビア語が流暢で 病気やケガをしたガザの子供たちをイスラエルの病院で治療を受けられるようボランティア活動



# 葬儀の前に オデッドさんへ敬意を表する人々



# 葬儀にて

\* 妻ヨケベドさん: 人質となったが2週間後 解放

私たちは平和のために戦ってきた。悲しいことに、夫は 助けてあげた人たちによって攻撃された。

人質が 全員帰ってくるまで諦めずに 戦い続ける。

\* 息子 アルノンさん

父は モーセのようなリーダーだった。自分を愛するように隣人を愛する人だった。いつも人助けをしようとしていた。



# ヘルツォグ大統領

リフシッツ家の皆さまに赦しを乞いたい。  
オデッドさんを守れなかったこと。救出で  
きなかったことを赦していただきたい。

国として、このような悲劇が起きた原因究  
明をしなければならない。調査委員会の  
設置を求める。



## 祈りの課題

\* ガザの人々に善を行ってきたのに、悪で返されてしまったオデッドさん。ご遺族を主が慰め 支えてくださいますように。心の健康が守られますように。

\* 人質解放のための第二段階に向けての交渉が 進み、一刻も早く全員が帰ってくるができますように。交渉の担当者に上からの知恵が与えられますように。

\* ハマスの残虐性に接して、悲しみや怒りなど 日々感情を揺さぶられることの多いイスラエルの人々が、希望を失うことがありませんように。イスラエルの神を求める思いを持つ人が多く起こされますように。